

大宮市民局 NEWS



おおみや トピックス

第12号

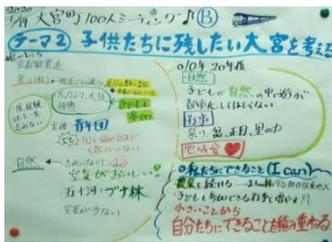
口大野区防災川柳
コンテスト2019
最優秀賞作品
※口大野公民館にて
展示中です。

「今」準備
つながる命
未来へと

「今」準備 つながる命 未来へと

大宮町 100 人ミーティングを開催しました

1月19日、京丹後市大宮町地域会議設立準備会*1（以下 準備会）主催のもと『大宮町 100 人ミーティング』が開催されました。準備会では京丹後市大宮町地域会議の設立に向け住民の幅広い意見が必要なことから、幅広い市民の方々に話し合ってもらい自分たちで地域課題を見つけ、持続可能な地域づくりの提案を目指すことを目的とし、京丹後市夢まち創り大学事業*2 を活用し、龍谷大学政策学部と連携し実施されました。当日は、30代から80代の町民34名、龍谷大学の学生11名、総勢45名が参加しました。参加者は6グループに分かれ、学生による進行のもと、グループ毎に「大宮町の伝統的な食とは?」「子供たちに残したい大宮を考える」という2つの大きなテーマについて考え、大宮町の良いところを10年・20年先に残すために私たちにできることは何かという決意表明を行う流れで話し合いました。イベント後に実施した参加者アンケートでは、「ミーティングの回数を増やしてほしい」「色んな人と話し合うことは大変有意義だ、楽しい」「20代から30代の意見も聞きたい」「人の数だけ考え



学生が内容をまとめた物

方があると分かった」などと言った様々な意見がありました。

- *1 各自治を担う区長からなる区長協議会と地域の農地を中心とした生活環境を守る組織を融合させ、持続可能な地域づくりを行う組織(京丹後市大宮町地域会議)を作るための組織。
- *2 地域と大学が互いに学び合い協働して地域課題の解決や地域の活性化を図ることが目的の事業。

五十河地区 「新たな地域コミュニティ」の勉強会

1月21日、五十河基幹集落センターにて、五十河地域（明田区・五十河区・久住区・新宮区・延利区）における現状と課題や、「新たな地域コミュニティ」の必要性とあり方等について学ぶための勉強会が開催されました。五十河地域は過疎化が進んでいる地域であり、今後の地域づくりについて参考にしたいという五十河地区区長会の想いから実施されました。勉強会には五十河地域から24名が参加され、参加者の皆さんは熱心に説明を聞いておられました。



輝く人～大宮町から～

今月号記載の3つのイベント*3に参加された中川秀雄さんにお話しを聞かせて頂きました。

中川さんは24年前、家業の農業を継ぐ形でUターンされ、現在無農薬野菜の栽培に力を入れておられます。無農薬栽培についての苦悩を尋ねると、「好きな仕事をしているから、自分では大変だとは思わない。無農薬の野菜を食べることで健康に繋がりが、心身ともに余裕ができ、社会に良い循環をもたらすことができる。」とおっしゃられていました。今回イベント*3に参加されたことについては、「何か刺激がほしいと思って参加した。参加者は経験のある人が多く、具体的な話ができた。様々な危機について頭では分かっているが、もっと真剣に考えなければ。」と、地域については「人口が少ないからこそ地域内でも意見が言いやすい、通りやすい。田舎らしさを魅力に具体案をいくつか考えている。果樹園公園を作ったり、体験農園を開催したり。根拠はないが人口減少の波はいつか反転すると思う。その時のために今から始めないと。」と意気込んでおられました。中川さんの今後の活躍も楽しみです。



*3 100人ミーティング・新たな地域コミュニティの勉強会・避難所運営訓練

第4回 大宮町避難所運営訓練 & 龍谷大学防災フェスタ

2月2日、大宮中学校の体育館にて避難所運営訓練及び龍谷大学防災フェスタが実施され、町内から116名が参加しました。避難所運営訓練は今年度口大野区が主体として龍谷大学政策学部の石原准教授及び学生の皆さんと連携し取り組んでいる避難所運営研修（全5回）の一環で、第4回目となる今回は、各区役員や自主防災会役員等、実際の災害時にリーダーになりうる皆さんが参加し、5つの班に分かれそれぞれ訓練を行いました。



- 本部：①各班の課題・進捗状況の把握、②避難所運営の総括
 総務班：①避難所スケジュールの策定、周知 ②避難所運営の記録
 被災者管理・情報班：①避難者の受付 ②避難者名簿の作成、集計・分析
 災害時要配慮者班：①災害時要配慮者の移動介助（写真左上） ②段ボールベッド作り
 保健衛生班：①感染症予防対策（所定の場所にアルコール消毒を散布）②簡易トイレの設置（写真右上）

大宮町全体での防災訓練は、今回が初めての開催でしたが、参加者からは「受付のやり方一つでもこれだけ意見が違ふということが分かってよかった。実際の災害現場において、混乱することのないよう、このような訓練を日頃から行うことが大切だ。」という声が多くあり、災害への意識を再確認する機会となりました。

また龍谷大学防災フェスタを同時開催し、学生が防災に関する4つのブースを開設し、参加者の皆さんはワークショップやペットボトルランタン作製（写真右下）等を通じて予測不能な災害への対策、準備を行いました。

お知らせ 第3回ひな人形展 ~800体のひな人形が小町公園に~

1月28日現在

小町公園内の「小町の舎」にて、ひな人形展を開催中です。「小町公園をもっと人の集まる場所にしよう」という一言からスタートしたこの取組みは、役目を終え使用しなくなったひな人形を集め約1か月展示する取組みです。平成30年からスタートし、今年で第3回目を迎えました。「人形を供養してくれる場所は他にもあるけれど、ごみ同様に扱われることが多い。ここなら最後まで人形としての役目を果たすことができる。」そう言って市外からの持ち込まれることもあり、中には100



年前に作られた人形もあるようです。右記日程にて開催中です。皆さん是非ご覧ください。

日時 2月2日（日）～3月8日（日）
 9時～16時（水曜休館） **開催中!**
 場所 小町公園内「小町の舎」

～空き家をコミュニティの場へ～

小町公園内に建物を構える「そば処 歌仙」は、五十河区民によって運営されています。何年もの間眠っていた空き家をコミュニティの場にしようとして以前そば屋として使用されていた経緯から、五十河で採れた食材を使用し現在も「そば処 歌仙」



として親しまれています。代表の田上さんは五十河区について、現在五十河地域には地域おこし協力隊の中川隊員が活動しており、「中川さんのような五十河に全く関係のない人でもいいから五十河を知ってほしい。とにかく村の存続を願います。」と話されていました。歌仙は、毎週日曜日のお昼のみ活動されています。小町公園へお越しの際は是非お立ち寄りください。



大宮町の人口

単位（人）

年齢	R1. 12 末	H16. 4	増減
0 歳～14 歳	1,313	1,880	-567
15 歳～64 歳	5,856	6,662	-806
65 歳～	3,017	2,545	+472
合計	10,186	11,087	-901

◆平成16年4月 京丹後市 市制誕生